

2017年 12月1日 金 → 2018年 1月28日 日



5.月出づ

1階 展示室 日月星辰 / 天空のもとで描く

| No. | 作品名  | 原画制作年 ※は制作年   | 寸法(cm)    | 材質・技法      | 取材地             |
|-----|------|---------------|-----------|------------|-----------------|
| 1.  | 残照   | 1947(昭和22)年   | 43.5×60.6 | リトグラフ      | 千葉県君津市、鹿野山      |
| 2.  | 二つの月 | 1963(昭和38)年   | 51.3×45.0 | リトグラフ      | フィンランド、ヘルシンキ    |
| 3.  | 冬華   | 1964(昭和39)年   | 60.0×48.3 | 複製画        |                 |
| 4.  | 月唱   | 1965(昭和40)年   | 45.7×37.1 | 木版画        | 北海道鹿追-上士幌町、然別湖  |
| 5.  | 月出づ  | 1965(昭和40)年   | 46.0×65.0 | リトグラフ      | 長野県山ノ内町、志賀高原    |
| 6.  | 月涼し  | 1970(昭和45)年   | 36.0×50.0 | リトグラフ      | 秋田県田沢町、田沢湖高原    |
| 7.  | 月の出  | 1971(昭和46)年   | 46.5×60.5 | リトグラフ      | 京都市右京区、梅尾高山寺石水院 |
| 8.  | 晩鐘   | 1971(昭和46)年   | 50.7×72.7 | リトグラフ      | ドイツ、フライブルク      |
| 9.  | 朝陽図  | 1975(昭和50)年   | 50.3×65.5 | リトグラフ      | 奈良県、吉野          |
| 10. | 灘江月明 | 1978(昭和53)年   | 30.3×43.0 | 木版画        | 中国、桂林           |
| 11. | 黄山良夜 | 1980(昭和55)年 ※ | 28.0×37.5 | リトグラフ      | 中国、黄山           |
| 12. | 明宵   | 1984(昭和59)年   | 34.5×50.0 | リトグラフ      | 長野-岐阜県、奥穂高      |
| 13. | 星の夜  | 1985(昭和60)年 ※ | 27.4×20.8 | リトグラフ      |                 |
| 14. | 明宵   | 1991(平成3)年    | 33.0×46.0 | リトグラフ      | 熊本県、阿蘇          |
| 15. | 夕紅   | 1996(平成8)年    | 35.5×51.0 | 木版画        | デンマーク           |
| 16. | 月光   | 1998(平成10)年 ※ | 64.8×92.3 | 麻布彩色       | 山形県山形市、蔵王       |
| 17. | 夕星   | 1999(平成11)年   | 40.0×60.5 | 新復刻画 リトグラフ |                 |

目録番号は、陳列の順序と必ずしも一致しません。  
新復刻画とは、東山魁夷の没後、すみ夫人の監修により制作されたものです。

### 東山魁夷略年表

1908年(明41) 7月8日、横浜市生まれ。1911年、神戸市に転居。本名「新吉」は、坂出市榎石島出身の祖父の名をもらったもの。  
 1926年(大15/昭元) 18歳 東京美術学校(現・東京藝術大学)日本画科入学。  
 1931年(昭 6) 23歳 東京美術学校研究科に進み、結城素明に師事。雅号を「魁夷」とする。  
 1933年(昭 8) 25歳 東京美術学校研究科修了。8月渡欧しベルリン大学でドイツ語を学ぶ。  
 1934年(昭 9) 26歳 第一回日独交換留学生に選ばれ、ベルリン大学哲学科美術史学部入学。  
 1935年(昭10) 27歳 父の病気の知らせを受け、留学期間1年を残して帰国。  
 1945年(昭20) 37歳 召集をうけ熊本に配属。終戦後、千葉県市川市に移って制作を再開。  
 1947年(昭22) 39歳 第3回日展に出品した《残照》が特選を受賞、風景画家として立つことを決意。  
 1950年(昭25) 42歳 第6回日展に《道》を出品、好評を得る。

1953年(昭28) 45歳 第9回日展に《たにま》を出品。  
 1956年(昭31) 48歳 日本芸術院賞を受賞。  
 1959年(昭34) 51歳 第2回新日展に、榎石島を描いた《暮潮》を出品。  
 1962年(昭37) 54歳 4~7月まで北欧4カ国を写生旅行。  
 1968年(昭43) 60歳 皇居宮殿壁画《朝明けの潮》完成。「朝明けの潮/京洛四季」展開催。  
 1969年(昭44) 61歳 4~9月までドイツ、オーストリアを旅行。文化勲章受章、文化功労者に選ばれる。  
 1973年(昭48) 65歳 「白い馬の見える風景」展開催。  
 1974年(昭49) 66歳 改組第6回日展に《夕静寂》を出品。  
 1975年(昭50) 67歳 唐招提寺御影堂の第一期障壁画《山雲》《濤声》を奉納。  
 1980年(昭55) 72歳 唐招提寺御影堂第二期障壁画の三題《黄山曉雲》《揚州薰風》《桂林月宵》を奉納。  
 1998年(平10) 90歳 第30回日展に《月光》を出品、最後の日展出品作となる。  
 1999年(平11) 91歳 5月6日、逝去(90歳)。



7.みづうみ

2階  
展示室

魁夷さんの絵のひみつ①  
広がる風景の魅力

| No. | 作品名            | 原画制作年 ※は制作年   | 寸法(cm)      | 材質・技法 | 取材地             |
|-----|----------------|---------------|-------------|-------|-----------------|
| 1.  | げっしょう<br>月宵    | 1948(昭和23)年 ※ | 104.2×151.5 | 絹本彩色  | 山梨県南アルプス市(旧落合村) |
| 2.  | あきの<br>秋の野     | 1962(昭和37)年 ※ | 28.8×38.5   | リトグラフ | 群馬・福島県、尾瀬沼      |
| 3.  | げつえい<br>月映     | 1965(昭和40)年   | 42.6×60.2   | リトグラフ |                 |
| 4.  | びやくや こう<br>白夜光 | 1965(昭和40)年   | 44.0×65.8   | 複製画   | フィンランド、クオピオ     |
| 5.  | げっこう<br>月篋     | 1967(昭和42)年   | 38.0×53.2   | リトグラフ | 京都市右京区、嵯峨野      |
| 6.  | へきこ<br>碧湖      | 1969(昭和44)年   | 38.0×27.5   | リトグラフ | ドイツ、ケーニヒ湖       |
| 7.  | みづうみ           | 1969(昭和44)年   | 48.5×60.6   | リトグラフ | ドイツ、オーバー湖       |
| 8.  | ゆまじ<br>揺れる窓    | 1969(昭和44)年   | 32.2×45.7   | リトグラフ | ドイツ             |
| 9.  | くさあお<br>草青む    | 1972(昭和47)年   | 20.9×31.1   | リトグラフ | デンマーク、ヒレロード     |
| 10. | すすきの<br>芒野     | 1972(昭和47)年   | 25.9×37.0   | リトグラフ |                 |
| 11. | せいしょう<br>静唱    | 1981(昭和56)年   | 31.5×46.0   | リトグラフ | フランス、パリ郊外・ソー公園  |
| 12. | せいえい<br>静映     | 1982(昭和57)年   | 39.0×65.2   | リトグラフ | 長野県飯山市、斑尾高原     |
| 13. | こが ま<br>木枯らし舞う | 1997(平成9)年    | 35.6×51.2   | 木版画   | ドイツ北部           |

目録番号は、陳列の順序と必ずしも一致しません。

版画の豆知識

版画はさまざまな版の形式と技法がありますが、木、金属、石、絹といった版材でつくる版形式は大きく4つ(凸版、凹版、平版、孔版)に分類できます。

木版画(凸版:とつはん)

浮世絵などで伝統的に用いられてきた技法。木の板を彫刻刀等の刃物で削り、デコボコを作ります。凸(トツ)の部分に絵具を塗り、紙をのせて圧力をかけて擦ります。凸の部分に塗った色だけが紙に写し取られます。

銅版画(凹版:おうはん)

木版画とは逆に、銅板に鋭利な刃物でキズをつけ、凹(オウ)の部分にインクを詰め、紙をのせて圧力をかけて凹(オウ)の部分のインクを刷り取ります。銅板を直接削って描画する「直接法」と、酸溶液に浸けて銅を腐食させることによって凹みをつくる「腐蝕法(エッチング)」があります。

リトグラフ(平版:へいはん)

表面を平らに磨いた石灰石(石板)の上にクレヨンや油性のインキなどで直接描き、その上に弱酸性溶液を塗ると、化学反応によって描かれた部分は油分を引き付け、描かれない部分は水分を保持するという、油が水をはじく原理を利用した技法。作画した部分にだけインクがつくように加工し、その上に紙をのせてプレス機で刷ります。

シルクスクリーン、セリグラフ(孔版:こうはん)

一枚の厚紙に適当な形の孔を明け、その下に一枚の紙を置き厚紙の上から顔料を刷り込むと、顔料が孔を通り、その孔の形をそのまま下の紙にうつし取ることができます。この単純な原理から出発したのが孔版と呼ばれる版形式です。

版画の余白部分には何らかの記号が記され、それぞれに意味があります。

「○/▲」エディションナンバーといい、分母(▲)は発行部数、分子(○)は通し番号を意味する数字が入ります。(例)「54/250」

「E.A.」épreuve d'artiste(仏) 作家保存用 「A.P.」artist's proof(英) 作家保存用 「H.C.」hors commerce(仏)非商業用つまり作家や工房が保存する

※当館所蔵の版画作品は東山魁夷が所有していた保存版で、ほとんどの作品が「E.A.」と記されています。

ミュージアムトーク

当館学芸員による作品解説を行います。

11:00~11:30(観覧券必要)

◎12月2日(土) ◎12月16日(土)

◎1月6日(土) ◎1月20日(土)

次回展覧会

第4期テーマ作品展

会期=2018年2月1日(木)~4月8日(日)

1階展示室 魁夷さんの絵のひみつ② 呼応する季節の美

「春愁」「秋思」など、季節や色彩などが対比的な作品を紹介し、その際立つ美しさに迫ります。

2階展示室 風景を語る、絵と言葉

「風景開眼」「ひとすじの道」など魁夷揮毫の書や、絵に添った魁夷の言葉を作品とともに展示します。



香川県立  
東山魁夷せとうち美術館  
Kagawa Prefectural Higashiyama Kai Setouchi Art Museum

〒762-0066 香川県坂出市沙弥島字南通 224-13

Tel 0877-44-1333 Fax 0877-44-0220 <http://www.pref.kagawa.lg.jp/higashiyama/>